

仏は濁れる世に、信じ難き法をお説きになる 小経



浄運寺だより

2020(R 2)6.20
発行 浄運寺
印刷 久野印刷



誰一人取り残さない

今年の春はどなたも厳しい環境の中で
の生活を強いられていることと存じます。

未曾有の事態に何が正しくて何が間違っているのかもわからず、不安を抱えての日々、浄運寺では永代経法要は初めての無参詣法要の形で開催いたしました。ご講師の松月博宣師にはご法話をいただき、浄運寺だよりへ掲載、インターネットでの公開と手探りでの伝道を試みております。

本山本願寺ご門主は本願寺新報の中で、感染拡大を抑えるためには、現状では人と人との接触を減らすことしかありませんが、そのために社会から孤立したり、生活の維持が困難となっている方も多くおられます。それぞれの地域の事情に応じた取り組みもなされていますが、私たちは社会の一員として困難な状況にある方への思いを寄せて、できることから始めてまいりましょう。

仏教では、この世界と私たちのありのままの姿を「諸行無常」と「縁起」という言葉で表現します。新型コロナウイルス感染症という病気に直面する社会において、仏

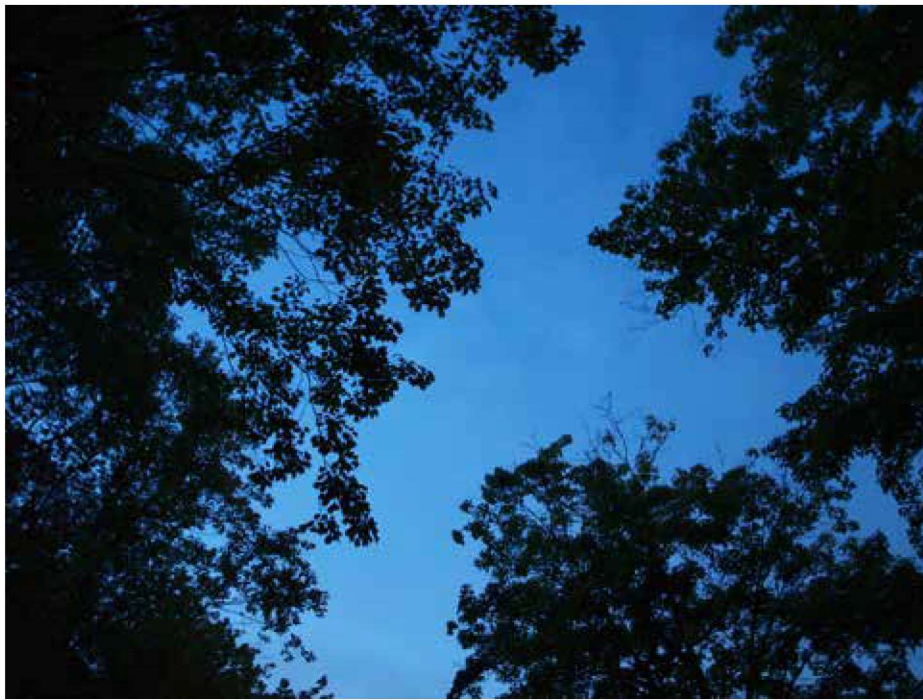
教の説く真実は私たちの心に届き、これらの生き方を示しています。新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の「状況分析・提言」は、「新しい生活様式」への移行を求めています。それは、私と他の方々の「いのちを守る」ための行動が必要だからです。私たちは感染拡大前の社会や生活に完全にすることはできないかもしれませんが、すべての人びとはお互いに関わり合い、大切ないのちのつながりの中でいきているのですから、「誰一人取り残さない」という理念を持ち、これからも仏教や浄土真宗のみ教えを伝えるお寺が人びとのよりどころとなるよう、社会の中でできることを実践してまいりましょう。

とお話されています。

先の見えない暗闇の中で心細く感じますが、五木寛之さんはエッセイで「アサガオの蕾は朝の光によって開くのではないらしいのです。逆に、それに先立つ夜の時間の冷たさと、闇の深さが不可欠である」とおっしゃっています。

このコロナ禍が何を私に知らせてくれたかを真剣に考えたいと思います。

釋義章



どこに居ても寝ておる所が極楽の次の間じや 香川県 庄松

旧き自己に死んで新しき自己に生まれ変わる

小山法城

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対する取り組み

若い仏教婦人会 手作りマスクの配布



浄運寺若い仏教婦人会の方々から何か出来る事をしたと手作りマスクの提供を受けました。本堂にて配布させていただきました。

多くの方に喜ばれている事と思います。有難うございました。

法要時の対策・本堂内の対策



法要室の座席
間隔をあける



抗菌おしぼり
機の設置



囲碁サークルは
フェイスシールド着用



法要室には空間除菌
機を設置しています。



若院、本願寺勤務へ



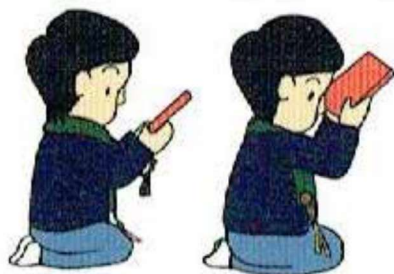
本願寺宗門校である龍谷大学卒業後に約1年間、本願寺勤式指導所にて研鑽を積み特別法務員の資格を取得した、浄運寺若院の白山響は、今年4月より本願寺宗務職員としての就職が決まり、法要や儀式を担当する式務部職員として勤務しております。



聖典

釈尊が説かれたお経をはじめ、親鸞聖人や歴代宗主、七高僧が著されたさまざまな典籍などが収められているのが「聖典(経本)」です。

聖典は、私の「いのちのよりどころ」をあきらかにしてくださっているものですから、特にいていねいに取り扱います。畳や床の上などに直接置かず、かならず適当な敷物や机などの上に置くようにしましょう。また、聖典をひらく前と閉じた後には、聖典を頂くことを忘れないようにしましょう。



「頂く」とは、お敬いのところを表していますので、聖典の下が概ね目線の高さになるぐらいを目安にして、静かにもち上げます。

まどえる身にも信あらば 生死(まよい)のままに涅槃(すくい)あり

いま 私にできること

What can I do now?



こちらのQRコードから
ボスターデータを
ダウンロードできます。

私のいのちを大切にすること

To cherish my life

他の人のいのちを大切にすること

Respecting the life of all people on earth

いま私たちは 大きな不安の中で 生活しています。
目に見えない ウイルスに対する不安。
いつまで続くかわからない不安。
大切な「つながり」が そこなわれてしまいそうな不安。
そんなときは 少し立ち止まって周りを見てみましょう。

「つながり」の中で 生かされている私。
だからこそ いま 私のいのちを大切にしたい。
私とつながる他の人の いのちを大切にしたい。
そのために いま 私にできることを考えましょう。

自分は大丈夫と 過信しない。
必要なものは 人と分かちあう。
根拠のない情報に 振り回されない。
不安が生み出す偏見や差別の心を 持たない。
厳しい状況の中 力を尽くしている方々に 感謝する。

「つながり」の中で 生かされている私たちは
共にささえあい 力をあわせ
誰もが安心して生活できる社会を 取りもどしてまいりましょう。



浄土真宗本願寺派（西本願寺）



つながりの中で
生きている
支えあいながら
生きている
だからこそ
他人^{ひと}の
よろこび 悲しみを
分かち合える世界が
開かれる



浄土真宗本願寺派（西本願寺）

ありがとう
私たちのいのちと 今の生活を
支えてくれている 全ての方々へ

本願寺阿弥陀堂前 大銀杏

2017（平成29）年秋、台風によって甚大な損傷を受けた。その銀杏は今、青々と生い茂っている。

ダウンロードURL



難思光

思いはかれぬ光ゆえ弥陀の救いに帰するなり

五月二十八日

永代経法要

この度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため無参詣法要として厳修いたしました。

法要後、ご講師の糸島市海徳寺の松月博宣師によりご法話をいただきました。

松月先生のご法話はインターネット動画配信いたします。



法話…前略

下関に妙蓮寺というお寺がございます

前住職がご往生なされた後、生前に詠んだうたがでてまいりました

「亡き人を 仏と拝み 拝まれる

仏になると 今を生きぬく」

妙蓮寺 宮川玄洋師

私ども、永代経で先立つた方々をお参りいたします。亡き人を仏さまとして拝ませていただきます。そのことは非常に有難いことです。何の気なしに我々は仏さまをおがんでおりますが、仏さまをおがむことができるのも拝んでいるこの私がすでに仏さまのご縁に出遇っているからです。

もしお互いが仏縁に出遇ってなく、お参りもしない、もしそういう生活だったならば亡き人はただの死んだ人です。ただのご先祖さんです。我々はただの先祖供養をしている訳ではないのです。亡き人を仏さまとして拝ませてもらっている。仏さまと拝む身にならしてもらっているということ。仏縁に遇わしてもらっている。亡き方々のお導きによって私たちはこうやって仏縁に遇わせてもらい、お寺に足を運び、仏さまの話を聴聞させていただく。そ

うするとどうなるか、驚いたことに、亡き人を仏と拝むこの私自身が拝まれる仏となると今を生かさせていただく。

中略

この度のコロナ感染拡大によりまして、世の中不安の中にあります。見えないから不安ですし、恐ろしい。しかしこのコロナが収束しても我々の不安は決して尽きる事はないはず。今はコロナが縁となつて私たちの心に不安や恐怖をおこしておりますが、収束したら死ぬとか病気になるかと忘れてしまふのではないのでしょうか。しかし私たちが生きていく上で根源的な不安や恐れがあります。それはどんな人生であろうとも死んでいかなければならない。何で死ぬのがいやなのかと言うと、悪業を重ねたまま命尽きた者は、また迷いの境涯に戻らねばならない。この大問題を南無阿弥陀仏の仏さまが解決してくださっている。親鸞聖人はそのところを人びとに語り続けていかれた。そのことを改めて味わわせていただきました。

本日は永代経で亡き人のお参りをさせていただきますました。ありがとうございますとお礼を申すとともに、あなた様のおかげで、私が拝まれる仏になる念仏の道を聴かせていただく事ができました。ありがとうございます。この一点で、永代経というご法会を勤めた事でございます。

一人であつて 一人ではないのです

高 史明

真の知識にあらうことはかたきがなかになおかたし 高僧和讃



行事案内

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事内容の変更がある場合があります。事前にご確認ください。

*門徒合同盆会法要

八月十日(月)「祝日・山の日」

今年は合同での勤行は行いません。

朝九時より夜八時までお焼香の用意をしておりますので、ご都合の良いお時間にお参りください。

蓮華廟ホール アショールカ

*彼岸会法要

九月二十三日(水)・二十四日(木)

昼一時三十分・夜七時三十分

ご講師 極楽寺 佐竹隆弘 師

*報恩講

十一月二十四日(火)・二十五日(水)

昼一時三十分・夜七時三十分

ご講師 栄法寺 石松昭信 師

すべてのものの生命は尊い

*キッズサンガ 成道会

十二月八日(日)

*除夜会

十二月三十一日(木)

夜十一時

※前年より三十分はやく、

午後十一時より開式です。

出遇い・ふれあい市「浄元さん」では、マルシェや長崎五島物産展等の行事を行ってきましたが、衛生面や行事内容を見直した結果、今までの形での開催は出来なくなりました。古書販売は単独で規模を拡大し、「古書まつり」として読書週間に合わせての開催となりました。

第3回
春日・浄運寺
古書まつり
KASUGA BOOKFES

2020年10月24日～11月6日
時間 10:00～18:00 (最終日は17:00迄)
会場 プディストホールアショールカ

BOOK RECORD CD DVD

生誕記念日のお祝い

- 誕生 1 万日 今年 27 歳になる方
- 誕生 2 万日 今年 54 歳になる方
- 誕生 3 万日 今年 82 歳になる方
- 誕生 4 万日 今年 109 歳になる方

該当される方はお知らせ下さい
記念品を用意しております。

白雲歌集

散歩する 老犬共に 千鳥足

大野 勉

新型コロナウイルスころころ上げて

やさしくなつてね

フェアプレイ心の準備 ヨーイドン

井上池畦子

俳句・短歌 募集

浄運寺では俳句、短歌、川柳などを募集しています。今後の「浄運寺だより」に掲載予定です。



浄土真宗本願寺派

浄 運 寺

816-0846 春日市下白水南 4-35

TEL 092-593-1111

FAX 092-593-2200

E-mail: info@jounji.com

HP: www.jounji.com